



山崎樹一郎監督とともに

「山中一揆」を

演じる。



わ
た
し
は、
あ
な
た
ち
を
忘
れ
な
い。



感じる。

山中一揆演劇 ワークショップ 2

脚本・演出 山崎樹一郎 映画「新しき民」監督

参加者募集 

演者15名、スタッフ 5名程度
締切:3月13日(金)

舞台は
山中一揆劇団
野外公演 2

2026.5.17(日)

場所、時間:未定

山中一揆 300年

さんちゅう・いっき

【主催】 山中一揆義民顕彰会

【共催】 真庭市・真庭市教育委員会

山中一揆 演劇ワークショップ 2

～ わたしたちは、あなたたちを忘れない。～

参加者募集

真庭の大切な歴史である山中一揆から300年の大きな節目にあたり、生きるために立ち上がった数千の民衆、51名の義民、行きすぎた権力に対する反省、それらを忘れることなく歴史と記憶を引き継ぐことを目的に山中一揆を演劇化します。役者やスタッフは市内外から募り、台本・演出は真庭市在住の映画監督、山崎樹一郎がワークショップ形式で行います。今回、2回目(2026年5月17日)の上演に向けたワークショップの参加者を募集します。演劇の内容については、集まった参加者と講師が共に考えて進めていきます。山中一揆を知って、一緒に演劇をつくりたい人なら誰でもご応募ください。

演劇ワークショップへの参加をご希望の方は、右記募集要項及び申込フォーム内の個人情報取り扱い方針・注意事項を確認・同意の上、ご応募ください。

「演劇」で語り継ぐ。

湯原ふれあいセンター(豊栄)



演劇ワークショップ

伝土居中河原処刑地跡付近(天津)



山中一揆劇団野外公演

講師よりメッセージ
山中一揆をあたらしい切り口で捉え直したい。わたしたちが試みるのは、自然、土地、場所をめいっぱい信じるものづくり。実際に起こった場所(ここ)で一揆を演じ直すことで歴史を自覚的に踏み越えていくことになればよい。参加者がフィールドワークと対話を通して山中一揆300年の節目に一つのクサビになるような新しい表現を提示できればと思う。

山中一揆 300年

さんちゅう・いつき

<募集要項>

- 【日時】 2026/4/5(日), 4/12(日), 4/19(日), 4/25(土), 4/26(日), 5/10(日) 時間 10時～15時の予定。
この他にも顔合わせや稽古を行います。
- 【会場】 湯原ふれあいセンター、野外公演現地等
- 【定員】 ①演劇に参加する出演者…15名程度
②舞台美術・音響・照明・制作などに関わるスタッフ…5名程度
- 【応募資格】 ・山中一揆を知り、一緒に演劇をつくりたい人
・住所・性別・演劇経験は問いません
※18歳未満の方は、必ず保護者の方に同意を得て応募してください。
- 【参加費】 無料
- 【応募方法】 申込フォームに次のことをご記入の上、ご送信ください。
①氏名(ふりがな)、②年齢、③性別
④住所、⑤電話番号、⑥メールアドレス
⑦顔写真、全身写真、⑧演技経験の有無
⑨意気込みなど(自由記述)
- 【応募締切】 2026年3月13日(金)
- 【問合せ先】 真庭市湯原振興局地域振興課
〒717-0406 岡山県真庭市豊栄 1515 番地
Tel:0867-62-2011 Fax:0867-62-2097
Mail:chiiki_yb@city.maniwa.lg.jp
- 【その他】 第2回 山中一揆劇団 野外公演 予定日
2026年5月17日(日)(会場、時間:未定)
本演劇は商業演劇ではありませんので、出演料等をお支払いするものではありません。



山中一揆を



山崎樹一郎
監督と
ともに

講師プロフィール
山崎樹一郎(映画監督)
2006年に岡山県真庭市の山あいに移住し農業に携わりながら映画製作をはじめ。最新作『やまぶき』(2022年)はロッテルダムやカンヌ国際映画祭でも上映され、第四回大島渚賞を受賞。



【主催】 山中一揆義民顕彰会
【共催】 真庭市・真庭市教育委員会